

四年間の活動を評価いただき

二期目の挑戦にご支援を！

精華町議会議員 山本 せいご

後援会・支持者の皆さまにおかれましては、つつがなく新年を迎えられ、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

旧年中は、格別のご支援ご指導賜り、厚くお礼申し上げます。

「山本せいご」を議会に送り出していただいていたからはや任期の4年目となりました。平成21年5月22日始めて庁舎5階の議場に入った時の緊張感は格別の思いでした。以後選挙で皆様とお約束した公約に基づき全力投球で活動してまいりました。

住民目線で「是々非々」の四年間の活動に、更なるご理解と信任をいただき、二期目を目指しがんばる決意でございます。今後とも力強いご支援をよろしくおねがいします。



■議員活動4年間のとりくみ

(1) バブルのツケ、精華町財政の透明化と税金の適正運用に是々非々



バブル期に町の発展のため借金をして多額の投資をし、学研都市精華町を築きあげてきました。そのツケが現在まで尾を引いています。

その解消のために、基金の繰り入れも含めて借金を減らしてきましたが貯金(基金)も減りました。このような財政状況の中、税金の無駄遣いを追求してきました。

①土地開発公社の塩漬け土地の買い戻しを求める経費の削減。

②精華病院の黒字転換により、貸付金1億円をやめる修正案を提出。

③消防庁舎を町の所有地に建て替え、現消防庁舎地の売却益を建築費用に充当。

④ほうその保育所の建設地の農地を、宅地並みの高値でなく適正価格での買収。

⑤建物賃借の保健センターを町庁舎4階の空きスペースへ移転による賃借料節減。

⑥新環境センターの適正規模建設と、西部塵埃処理組合の精華町に権利ある基金を早急に町財政に戻し活用。

⑦談合防止の環境作りに電子入札の導入と、インターネットなどによる公表、及び随時契約の公表などによる入札の透明化と適正価格入札。

⑧自治体財政を数値的に分析し、町財政の危機度を指摘し更なる対策を要求。



(2) 心のかような福祉、温かい心で接する行政を求める。

高齢者や身体障害者、病気に苦しむ人たちに温かい心で接する行政を求め、現行制度の血の通った運用と充実を求めました。

①窓口のていねいな制度全般に亘る説明。

②いつでも利用できる相談窓口の常設。

③在宅療養の要である行政、医者、看護師、介護師などの連携の中心的役割を果たす地域包括制度の充実。

・訪問看護ステーションの充実と24時間体制や土日の緊急時対応。

・在宅支援病院や診療所、地域包括支援センター、看護センターなどを含んだ在宅医療連携拠点の設置と、その連携強化。

・行政が積極的にその役割りを果たし、医療・介護・看護の充実。

・介護をする人たちの町の支援体制の充実。相乗作業所への予算の確保と支援。

・高齢者や弱者に配慮した災害対策。

(3) 地域の問題のとりくみ

① 農業問題

・農作物の獣類被害対策と補助費を要望。
・道の駅の提案、地産地消の推進。

② 道路関係

・山手幹線南進の事業実現の推進。
・谷川氾濫に対する河川改修の要求。
・地域の道路改修整備基準の設定要望。
・通学路安全対策のエリア制限速度規制
(南稲通学路に信号設置、歩道確保など)
③ 自衛隊基地の安全と情報開示の要求。

(4) 請願・紹介議員として取り組み

① 小・中学校全教室へのクーラー設置。
② くるりんバスの径路・停留所の見直し。

(5) 議会改革

議員定数
22→18

自ら身を切る「議員定数削減」をはじめ、開かれた議会、住民の皆様を理解していただける議会を目指して取り組んできました。

① 永年の課題の議員定数削減は、自ら議員提案し、紆余曲折を経て賛同を得て実現
② 議会のインターネット中継と録画放映にとりくみ実現。(委員会中継へ拡大中)
③ 政務調査費の健全使用、議員研修のビジネスホテル化など経費節減を実施。
④ 議会倫理条例の制定に尽力(継続中)

(6) 議員活動情報の発信(報告)

ご支援いただいた皆様に、議員活動を初年度より「議会だより」「ホームページ・ブログ」で継続して報告してまいりました。

■二期目に向けての決意

町(地方)議会には、国のように与党や野党はありません。地方議会の二元代表制(首長と議員がそれぞれの選挙で選ばれる)における議員の重要な役割は、住民要望にこたえと共に、執行機関のチェック(監視・評価)機能を果たすことです。このことを肝に銘じ議員として全力を挙げて取り組んでいきます。

① ムダのない税金の執行、有効な事業の執行、透明性ある行政を求めていきます。
② 福祉、安全、安心を最重点として、地域の課題・住民要望に取り組みます。
③ 精華町が明るい未来を自ら発信していく力強い「まち」になるよう取り組みます。
④ 議員定数が18名になることから、一層の議会改革を進めます。
⑤ 議員としてレベル向上を図り、民意を反映する提案型議会への転換に努めます。

常に、住民目線での「是々非々」に徹し、定数削減に尽くした力で一層の改革を目指し2期目を目指して頑張ります。

あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願いします。

二期目に向けての活動を

ご支援ください。

後援会事務局一同

編集後記

■ 混乱した政治、疲弊する経済、

ロンドン五輪で心を癒した2012年

昨年は、東京スカイツリーの開業、ロンドンオリンピックで史上最多の38個のメダル獲得、山中教授のノーベル賞受賞など、日本人の自信を取り戻す明るい話題があったことは心のよりどころとなりました。

一方、国政においては、原発再稼動と電力問題、TPP問題、消費増税、に加え、竹島、尖閣列島の領土問題に揺れ動き、新党乱立の衆院選挙など混沌とした1年でありました。

日本経済においても、欧米の金融危機と景気後退、円高に加え中韓の反日・不買運動などから国際競争力を失い、大幅な減速を余儀なくされ不況のどん底にあります。

また、いじめ問題、中央道トンネル崩落事故、豪雨や竜巻災害など新たな社会問題、環境問題など全般に暗い1年であった感はありません。

■ 2013年は巳年・「起こる・始まる・定まる」の意味があり、「復活と再生」を連想する年とされています。

政治・経済・社会環境で日本の復活と再生への起点となつてほしいものです。

地域住民と最も近い町行政・町議会も自主自立した活動で、停滞から発展への舵切りを期待したいものです。(事務局)

